

地域学校協働連携NEWS

こちらの QR コードから、閲覧・ダウンロードができます→



ブナ植樹と駒土湿原保全活動 ～南会津高校～

10月7日(火)、南会津高校生による駒土湿原周辺のブナ植樹取材訪問しました。植樹活動は、田島ロータリークラブや南会津町の湿原を守る会の支援を受けながら3年前から行われており、「森林科学」を授業で選択している3年生7名と先生方3名が参加しました。

南会津町の湿原を守る会の副会長である湯田さんによると、湿原の周囲に保水力の高いブナを植樹することによって、湿原への土砂の流入を防ぐことができるということでした。

地域と協働しながら行っている南会津高校の取組は、地域の貴重な自然を守ることに繋がっています。



<南会津高校生徒の感想>

南会津の自然の保全に携わることができてうれしく思いました。未来につながるように、丁寧に作業しました。ロータリークラブや守る会の方の協力で貴重な体験をすることができました。



<南会津高校生徒の感想>

植樹は初めてではなかったけれど、みんなで協力しながら植樹するというのは初めてでした。自然豊かな駒土湿原を守るところにやりがいを感じました。

田島ロータリークラブ会長の小椋さんから、「2年前、3年前に植樹されたブナも元気に生きています。何年か経ってまたここを訪れた時、自分の植えたブナを見て、みんなで一緒に植樹したことを思い出し、このブナのように頑張ろうと思っていただけたら嬉しいです。」とお話がありました。1本1本のブナには番号札がついており、誰が植えたのかを記録してあるそうです。

地域学校協働活動によって、将来も南会津に関わり続けようとする子供たちが育ってくれと嬉しいです。

